

新型コロナに負けない！！①

## 秩父地域における新型コロナウイルス対策について

新型コロナウイルスの世界的な拡大が止まりません。世界中で都市封鎖などの対策が取られていますが、現状は収束に向かっていると言える状況ではありません。ウイルス自体については世界中から様々な報告があり少しずつ特徴がわかってきましたが、わかればわかるほど抑え込むことが難しく、怖いウイルスだと感じています。前回も書きましたが、人と人が接触する以上、完全にこのウイルスの感染を予防することは不可能です。とにかく今は人から人への感染を最小限に抑えるために、接触の機会を減らし、被害を食い止めることが大切です。

日本でも緊急事態宣言は全国に拡大され、今まで以上に人の移動、人の接触を制限して感染拡大を抑止しようという方針になっています。埼玉県全体でも日に日に感染者が増加し、すでに全体像の把握は困難になり、入院できるベッド数は不足しています。埼玉県の医療体制は今でも間に合っていない状況です。

その中で秩父地域は埼玉県の1/4の面積を占めていますが、現時点で感染確認は非常に少なくすんでいます。日常診療の中で感じるのですが、秩父地域は感染予防をしっかりとされている方が多く、この状況は地域の皆さんの努力のたまものであると思っています。

しかし、一方で秩父地域は、元々高齢の方が多く、また重症な病気に対応できる医療機関は限られています。感染が拡大すると、規模は小さくても、被害は大きくなってしまいう心配があります。

皆さんもコロナ疲れ、自粛疲れを感じ始めていることと思いますが、感染対策は現状では緩めることはできません。

今、みんなで行動しないと多くの犠牲者を出すことになるとともに、社会全体が立て直せないほど壊れてしまいます。みんなで同時に行動しないと意味がありません。一日でも早く日常を取り戻すために、「今」「みんなで」我慢することが大切です。引き続き、秩父地域でこれ以上の感染者を出さないために、「自分を」「家族を」「地域を」守るために一人一人の御協力をよろしくお願いします。

秩父郡市医師会では、今後感染者が増加した時の準備を進めていきますが、今は何としても秩父地域で一人でも感染者を増やさないように住民の方々と共に努力していきたいと思っています。

文責 近藤俊夫